

芋酒の開発

支援の背景

芋酒とは、琉球国時代から明治期まで沖縄でつくられていた蒸留酒です。雑穀、芋、黒糖を原料とした自家醸造酒ですが、自家醸造が禁止されると姿を消してしまいました。

2014年、当センターで大正期の技術資料に基づいて芋酒の試作を行ったところ、請福酒造に興味を示して頂きました。さらに、他メーカーにも呼びかけたところ、久米島の久米仙と多良川に賛同を頂き共同研究を開始しました。

支援内容

工業技術センターでは、小仕込み試験を行い基本的な製造方法を確立しました。また、現場で仕込みの状況をモニターし、適切な製造条件になるようにアドバイスを行いました。

支援の成果

2018年に沖縄の産業まつりで試験販売を行ったところ、一日半で完売したほど話題を集めました。2019年8月よりレギュラー販売を始め、生産が追いつかないほど人気があります。

また、購入して頂いた方からは、歴史やストーリーに共感の意見が多く寄せられており、各種メディアにも取り上げられました。



2019年8月
3社の芋酒が
イムゲーとい
う商標で販売
開始。